

図書館だより



No.195

2015(平成27)年7月9日発行

編集・発行 福島県立図書館

〒960-8003 福島市森合字西養山1番地

Tel 024-535-3218

Fax 024-536-4787

<https://www.library.fks.ed.jp/>



◆ 展示のお知らせ ◆ 展示コーナー

「復刻雑誌展」 7月3日～8月5日

当館で所蔵している雑誌の復刻版を展示します。

時代の世相を感じさせる雑誌の中から、「青鞥」「明星」など教科書でも知られた雑誌や「それいゆ」「THE JAPAN PUNCH」といったおもしろみある資料をご紹介します。



【戦後70年展】

「本や雑誌でたどる文化史」 8月7日～9月2日

日本は平成27年8月15日をもって戦後70年をむかえます。

当館では“文化”をひとつのテーマとして、戦後の復興から経済成長を遂げて今日に至るまでの、各時代を象徴する出来事に関する資料や、その頃読まれた本などを年表とともに幅広く展示する予定です。



◆ 各種展示 ◆

【ロビー展示コーナー】

■第4回えがく会 展

開催期間：7月3日(金)～8月5日(水)

えがく会の皆さんによる油絵作品を展示します。

■みんなが知ってる絵本の絵 展

開催期間：8月7日(金)～9月2日(水)

■こどもたちの教科書を見てみよう！

【時事展示コーナー】7月3日(金)～9月2日(水)

■尾瀬に親しむ【地域】

■夏の夜に読みたいおはなし【雑誌】

■あなたは海派？山派？【軽読書】

【各ミニ展示コーナー】7月3日(金)～8月5日(水)

◆ イベント ◆

■赤ちゃんと保護者のための“ちいさなおはなしかい” 〈入場無料・申込不要〉

場 所：県立図書館 こどものへやにご集合ください 日 時：7月9日(木)10:30～11:00

*8月のちいさなおはなしかいはお休みします。

■親子ふれあい読書フェスティバル“絵本はともだち” 〈入場無料・申込不要〉

場 所：南相馬市立中央図書館 マルチメディアホール 日 時：7月25日(土)13:00～15:45

13:00～14:30 講演会「親子で楽しむおはなしの世界」幼児教育専門家 藤田浩子さん

14:45～15:15 おはなしのへや 新地町図書館ボランティア スイミー

*12:00～15:45 絵本の展示と読書相談 担当：福島県立図書館

新着案内

各分野の担当者が選んだ、お薦めの新着資料をご紹介します。

人文・自然・社会

『カラー百科写真と古図で見る狂言七十番』

田口 和夫／編 勉誠出版 2014. 10 773. 9/外 14X/
痛快な笑いを呼ぶ「狂言」は、テレビでも見ることが出来る比較的親しみやすい古典芸能であると言えます。千三百年前にはじまりを持つ世界的にも類を見ないこの古典劇の中では、時に権威あるものがこきおろされ、庶民や、「わわしい」と表現される力強い女性たちが生き生きと活躍します。現代の狂言を担う狂言師たちの舞台さながらの写真と、代表的な曲目の解説を見ながら、現代に息づく古典芸能の世界に触れてみませんか。

『遺品整理士という仕事』

木村榮治／著 平凡社 2015. 3 673. 63/キ 153/
「遺品整理」という仕事があることをご存知でしょうか？遺族の気持ちに配慮しながら故人の荷物の片付けをお手伝いするのが「遺品整理士」のお仕事です。高齢化社会が進み「高齢者単独世帯」の数が年々増加している中で遺品整理を業者にお願いするケースが増えています。本書では、見積り額の倍額を請求されたり、高額な遺品を盗まれたりなど遺品整理にまつわるトラブルや、遺族に迷惑をかける生前整理の方法、エンディングノートの書き方などについて、著者の体験した様々なエピソードとともに紹介。「遺品整理士」というお仕事から、家族のあり方や近所づきあい、さらに「孤独死」や「ゴミ屋敷」の問題など日本社会に浮かび上がる様々な問題が見えてきます。

『学校の戦後史(岩波新書)』

木村元／著 岩波書店 2015. 3 372. 107/キ 153
近代の学校制度には度々変更が加えられてきましたが、それは子ども達が抱える問題や社会の要請に対応してきた結果でした。本書はどの時代にどういった問題・課題があり、それに学校はどうか対応してきたのか、そしてそこから見えてくる今後の課題などがコンパクトにまとまった一冊となっています。戦後70年の節目に、教育のこと、子ども達の未来のことについて考えるきっかけにもなるはずです。

児童・児童図書研究

『大きな写真と絵でみる 地下のひみつ 全4巻』

土木学会地下空間研究委員会/監修 こどもくらぶ/編 510/ト/
私達が普段は気にとめない地下の世界。そこは、長い歴史を経て今日まで様々な進化を続けていました。その秘密に迫るのが『地下のひみつ』シリーズです。4巻では、ジオフロント(地下都市)や深さ40m以上の地下を走るリニア新幹線など、未来の地下世界を取り上げています。アニメや漫画の世界で描かれていた地下都市が実現する日も近いのでは…と地下への可能性が膨らみます。

雑誌・新聞

2015年10月から「マイナンバー制度」が導入されます。行政の効率化・国民の利便性向上を掲げる導入間近のこの制度ですが、「どんな制度なのか?」「メリットやデメリットは?」といった疑問をお持ちではないでしょうか。今回は新着雑誌から、「マイナンバー制度」の特集記事をご紹介します。

*ここが分からん! マイナンバーの基礎知識Q&A

Z/330. 5/E1/『エコノミスト』2015年5月26日号

*通知まであと5カ月 12ケタの「国民総背番号制」

で世の中はこう変わる! 丸ごと分かるマイナンバー

Z/051/S18/『サンデー毎日』2015年5月31日号

*年金個人情報125万件流出でマイナンバー導入に暗雲

Z051/S21/『週刊文春』2015年6月11日号

*世界の潮 施行前のマイナンバー法「改正」歯止めなき利用拡大へ 白石孝／著

Z051/S1『世界』2015年7月号

*「マイナンバー」で日本は大不況になる 北見昌朗／著

Z/051/B2『文芸春秋』2015年6月号

地域

『ジョーバンセントリズム 常磐線中心主義』

五十嵐泰正・開沼博／責任編集

河出書房新社 2015. 3 L291. 8/I39/1

上野駅を始発として太平洋沿いの海岸線を北上し、仙台へ至る鉄道、「常磐線」。古くは常磐炭田の石炭を運搬し、現在に至るまで各種食料品や工業製品、そして人々を首都圏へ供給し続けてきました。

この本では、上野駅から現在常磐線が途切れている富岡駅まで線路を辿りながら、沿線に繋がりを持つ著者たちが土地ごとの文化や歴史、そして震災後の姿についてリレー形式で綴っていきます。「語られすぎてきた駅」上野や、「回り続ける回転やぐら」内郷など、様々な顔を持つ常磐線沿線を堪能できる1冊です。

『会津学 vol. 7』奥会津書房／編集・発行

2015. 3 L291. 6/A52/7

創刊10年目、惜しくもこのvol. 7で終刊となりました。特集は「災害の記録」がテーマとなっており、平成23年7月の新潟福島豪雨被害を受けた只見町、金山町の記録とともに、文政4年大地震についても触れています。『会津学』はこれまで奥会津の歴史を含め、現在に奥会津に暮らす人々の生活や文化、伝承を紹介し、また地域で活躍する人にも焦点をあて、発行されてきました。記録を残すこと、伝えていくことの大切さを教えてくれる雑誌です。

〈記入の仕方〉

基本として、以下の書き方で記入していただくと助かります。

- * 11p、明朝体
- * 「書名」 著者名 請求記号
紹介文

各枠 2～3 冊程度。厳密な規定は現在のところありません。各チーム(各分野)でデータを入れた後、おもて面担当で最終調整してください。